

金融機関と気候変動リスク ～欧米の最新動向を踏まえて～



近年、温室効果ガスを排出する企業や、企業に資金提供を行う金融機関が、気候変動問題をビジネスリスクとして捉え、対策を急ぎ始めてきています。

特に欧米では、今後のCO2排出規制強化により化石燃料を使用できなくなるリスク(座礁資産リスク)を懸念して、

特にCO2排出の多い石炭関連事業に関わる企業から投融資を引き揚げるダイベストメント(投資撤退)が盛んになってきています。

今回のセミナーでは、日本の金融機関に潜むリスクや、この影響をダイレクトに受ける現場の様子、欧米金融機関の最新動向などを、専門家の目から分かりやすくお伝えします。

9/13(火)

19:00～21:00

ソラシティ カンファレンスセンター
テラスルーム

プログラム

オープニング

国際青年環境NGO A SEED JAPAN 事務局長 西島 香織 (予定)

企業が直面する気候変動リスク(情報開示の国際動向や訴訟リスク事例を中心に)

東北大学教授 明日香 壽川氏

国内で石炭火力発電を推進する行政・企業の動向とそれに対する市民活動の現状

認定NPO法人気候ネットワーク東京事務所長 桃井 貴子氏

欧米の金融機関が認識する座礁資産リスクとダイベストメント(投資撤退)の最新動向

株式会社ニューラル 夫馬 賢治氏

パネルディスカッション・質疑応答

コーディネーター:(特非)「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 田辺 有輝

クロージング

開催概要

<日時> 2016年9月13日(火)

18:40開場 19:00開始 21:00終了

<場所> ソラシティ カンファレンスセンター テラスルーム

(裏面に地図が載っています)

<参加費> 一般:1,000円 主催・協力団体会員:無料

<主催> 国際青年環境NGO A SEED JAPAN

<協力> (特非)アジア太平洋資料センター(PARC)

(特非)「環境・持続社会」研究センター(JACSES)

<申込み>

以下のWebサイトよりお申し込みください。

<http://fairfinance.jp/news/2016/20160824>



講師プロフィール



明日香 壽川氏／東北大学教授

東北大学東北アジア研究センター教授（環境科学研究科教授兼任）。東京大学農学系研究科修士課程修了（農学修士）、国際経営大学院（INSEAD）修了（経営学修士）、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（学術博士）。京都大学経済研究所（客員助教授）などを経て現職。2010年～2012年には（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）気候変動グループ・ディレクターも兼務。



桃井 貴子氏／認定NPO法人気候ネットワーク東京事務所長

気候ネットワーク東京事務所長。大学を卒業後、フロン問題に関する環境NGOのスタッフとしてオゾン層保護、気候変動問題に取り組む。その後衆議院議員秘書、全国地球温暖化防止活動推進センター職員を経て、2008年より気候ネットワークスタッフ。2011年3月の福島原発事故後は、原発も温暖化もない未来をめざし、エネルギー・気候変動問題を中心に取り組み、様々な団体と連携して活動を展開。



夫馬 賢治氏／株式会社ニューラル

株式会社ニューラル代表取締役。企業・投資家向けサステナビリティ・アドバイザー。自社運営ニュースサイト“Sustainable Japan”で 海外のCSR・ESG投資情報を毎日配信。環境、社会、行政、ビジネス、金融の全体を俯瞰したアドバイスを行うのが強み。東京大学教養学部卒業。サンダーバード国際経営大学院MBA修了。現在ハーバード大学大学院サステナビリティ専攻在籍中。

会場までのアクセス



東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ
最寄駅：御茶ノ水駅、新御茶ノ水駅、淡路町駅、小川町駅

お問い合わせ先

国際青年環境NGO A SEED JAPAN

〒110-0005

東京都台東区上野5-3-4

クリエイティブOne秋葉原ビル7F

TEL: 03-5826-8737

Eメール: info@aseed.org

本イベントは、株式会社ラッシュジャパン、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金、Swedish International Development Cooperation Agency（スウェーデン国際開発協力庁）からの助成を受けて開催いたします。

